

令和4年度 第1回県内学事視察

第1回学事視察では、徳島県立しらさぎ中学校の授業視察を行いました。
とくしまのリカレント教育のシンボルでもあるしらさぎ中学校には、幅広い年齢層や様々な国籍の方など、多様な背景をもった生徒たちが集い、その生徒たちのそれぞれの夢や目標に応じた「学び」の機会を確保するため、個々の学力や進路に応じたカリキュラムの整備とともに、日本語指導に重点を置いたコースも設け、各生徒にとって最適となる学習が実践されています。



しらさぎ中学校の取組に対する評価は高く、度重なるマスコミの取材や、多くの県外視察が訪れています。

令和5年1月18日（水）徳島県立しらさぎ中学校

学校概要説明として、しらさぎ中学校の「誰一人取り残さない教育」について、またしらさぎ中学校に通う生徒の様子について紹介がありました。

【教育委員より】

- ・生徒の学びたいという意欲、それに応える先生方のエネルギーに感動した。
- ・言語や学びの習熟度といった個々に対応した教材づくりの工夫が素晴らしい。
- ・多様な生徒、そして多様な価値観が同じ教室にあるなか、先生方も意見を聞き入れ、ともに成長していくという姿勢が感じられる。



【榊教育長より】

様々な年齢、国籍の生徒たちが集い、先生方の問いかけに応えながら、いきいきと学ぶ姿を見ることができた。

先生方が苦勞して作った教材は、デジタル書庫等に整理し共有するなど、今後も持続可能な学校運営を行っていただきたい。